

## ブリリアントグリーン寒天培地(フェノールレッド添加)(BGA)

Brilliant Green agar (BGA)

非無菌製剤における *Salmonella* の検出

43601 平板培地 20 枚(90mm)

### 貯蔵法

2-8°C

### 組成(g/l)

肉およびカゼインペプトン(牛または豚) .....	10
酵母エキス .....	3
塩化ナトリウム .....	5
乳糖一水和物(牛) .....	10
ショ糖 .....	10
フェノールレッド .....	0.08
ブリリアントグリーン .....	0.0125
寒天 .....	20
pH6.9	

### 原理

ブリリアントグリーン寒天培地は非無菌製剤における *Salmonella* の分離目的で、検体の希釈および増菌後に使用します。

本培地はヨーロッパ薬局方(L medium)およびアメリカ薬局方で推奨されています。

ブリリアントグリーン寒天培地(Kauffmann 培地の改良培地)は選択性が強く、*Salmonella typhi* 以外の *Salmonella* の分離が可能です。

乳糖と指示薬により、非発酵菌の検出が可能です。

乳糖およびショ糖非分解性の *Salmonella* は、指示薬の色が変化しないため乳糖やショ糖分解性の微生物との識別が可能です。

グラム陽性菌および *Salmonella* 以外の一部のグラム陰性菌は抑制されます。

### 使用法

1. 培地を室温に戻します。
2. 増菌後の懸濁液を接種します。
3. フタを下にして培養します。最新の標準法に従い、用途に応じて適切な温度で培養して下さい。ヨーロッパ薬局方に従った場合、35-37 で18-72時間培養します。アメリカ薬局方に従った場合、30-35 で24-48時間培養します。
4. 参照する薬局方に従い、XLD 寒天培地(Ref. 43563 / 43564)、デソキシコレートクエン酸寒天培地(Ref. 51029)、亜硫酸ビスマス寒天培地(Ref. 51065)のような他の培地と併用することが推奨されています。

### 判定

- 培養後、菌の発育を確認します。
- 特徴的なコロニーを確認します。*Salmonella* (乳糖およびショ糖非分解)は、ピンク色の培地上で無色のコロニーを形成します。
- 乳糖やショ糖を分解する微生物は無色から緑色のコロニーを形成し、培地が部分的に黄変します。
- 特徴的なコロニーの同定には、生化学的および免疫学的方法を用いて下さい。

### 使用上の注意

- 無菌操作および細菌を取扱う上で必要な注意事項に留意して下さい。
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。したがって、これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分ご注意の上お取り扱い下さい(接種または吸入しないで下さい)。
- 検体、培養物などは全て感染の可能性があるものとして取り扱いには充分ご注意下さい。安全ガイドライン: "NCCLS M-29A, Protection of Laboratory Workers from Instrument Biohazards and Infectious Disease Transmitted by Blood, Body Fluids, and Tissue; Approved Guideline – Current revision" 操作留意事項"Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories - CDC/NIH – Latest edition"または各国の最新のガイドラインに従って下さい。
- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- 包装が破損している製品は使用しないで下さい。
- コンタミしている、あるいは水分が浸出している培地は使用しないで下さい。
- 本培地は取扱い説明書に記載されている操作方法に従って使用して下さい。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。

### 留意事項

- *Shigella* あるいは *Salmonella typhi* は本培地によって強く発育阻害されるため、これらの菌には使用できません。
- グラム陰性菌のいくつかは特徴的なコロニーを形成することがあります(*Shigella*、*Proteus mirabilis* (培地表面に広がります)、*Pseudomonas aeruginosa* 等)。従って、補足試験を行い菌種を確定して下さい。
- 24時間培養後、乳糖やショ糖の分解能がある菌が存在する場合には、再アルカリ化が起こり培地が黄色からピンク色に変化することがあります。72時間培養後、これらの菌が存在するとしばしば完全に再アルカリ化が起こります。24時間目に観察することで、培地の黄変が観察できます。

### 参考文献

1. KAUFFMANN F. – Weitere Erfahrungen mit dem kombinierten Anreicherungsverfahren für Salmonellabacillen. – Zeitschrift für hygiene, 1935, **117**, 26-32.
2. USP XXVII .
3. European Pharmacopoeia 4 .
4. LE MINOR L. – *Salmonella* – Bergey's manual of systematic bacteriology, vol. 1, 427-446.
5. MORIÑIGO M.A., MARTINEZ-MANZANARES E. – Evaluation of different plating media used in the isolation of Salmonellas from environmental samples. – Journal of Applied Bacteriology, 1989, **66**, 356-360

## 廃棄処理

起こりうる危険を適切に考慮の上、使用者の責任の元、廃棄産物や流出産物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CS センター

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・ビオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)



シスメックス・ビオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目 2 番 2 号

大崎セントラルタワー 8 階

bioMérieux sa

69280 Marcy-l'Etoile / France

Tel. (33) 0.4 78 87 20 00 / Fax (33) 0.4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>

The logo is a registered and protected trademark of bioMérieux sa or one of its subsidiaries.